

建築士

# おおた

秋季号

2014 NO 113



公益社団法人 大分県建築士会

# CONTENTS

1. 副会長新任挨拶	副 会 長 藤原 秀樹
2. 25年度公益事業の成果	大 分 支 部 日高 雄介 山崎 真司 別 府 支 部 小山 秀輝 竹 田 支 部 玉田 智 伊東 政博 玖 珠 支 部 白地 泰憲 佐 伯 支 部 小野由美子 臼 杵 支 部 木村 純孝
14. 建築士会入会の挨拶	大 分 支 部 佐藤 誠治
15. 建築士の集い(長崎大会)参加報告	別 府 支 部 籠田真一郎 大 分 支 部 首藤 顕道
18. インフォメーション(支部便り)	大 分 支 部 桑野 尚樹 佐 伯 支 部 竹津 昌洋
20. 我が街の建築士紹介	大 分 支 部 小仲裕一郎 大 分 支 部 利光 由江 別 府 支 部 古本 学 別 府 支 部 興田 昌英
22. マイワーク	津久見支部 高瀬 幸伸 臼 杵 支 部 赤嶺 竜一 佐 伯 支 部 高瀬 泉
24. マイベストブック	玖 珠 支 部 梅木 恵美 宇 佐 支 部 久保 啓
26. おおいた建物発掘隊	豊後大野支部 佐藤 勤也
29. マーゴの旅先日記 その1	会 長 井上 正文
30. 事務局だより	大分県建築士会事務局



## ■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

浜脇の町並み

別府支部 新山 俊則

# 副会長就任挨拶

公益社団法人 大分県建築士会

副会長 藤原 秀樹

公益社団法人として2年目を迎える大分県建築士会の副会長を引き受けることになりました日田支部の藤原です。井上正文新会長の補佐として勤めてまいります。私は事業委員会を担当することになりました。会員の技術力向上のための研修機会の充実、会員の親睦と交流を深める企画をすすめていきたいと考えています。日々の仕事で多忙な会員のための研修会、講習会を各支部のご協力を得て大分市以外の地域でも開催したいと考えています。会員以外の建築士にも研修会、講習会の案内をして機会を提供しましょう。それが入会を勧めることにもなるでしょう。

公益社団法人として、公益性を高めるためには支部活動の活発化は必須です。幸いにも平成25年度より支部の公益事業に本会から補助が受けられるようになり、支部活動にも朗報だと思います。各支部の活動が活発となり、支部間の情報交換も盛んになることを期待します。

私が建築士会入会したのが30年前でした。日田

支部で青年部活動に参加しました。当時の野木青年部長に勉強会を中心に活動しようと提言、とにかく勉強会（建築基準法の講習会、建材メーカーの講習会等）を中心にやっていたように思います。そのころ本会では青年部を作ろうと機運が盛り上がっていたようです。第1回サマーセミナーが湯布院青年の家で開催されました。岩男病院の岩男さんの講演、キャンプファイヤーを囲んでの語らいが、今の私のスタートのようです。サマーセミナーは大分県建築士会の会員同士の情報交換、研修に役立ったのではないのでしょうか。昨年、公益法人化に伴い、公益事業として市民に開放した建築セミナーとして衣替え、再スタートしました。建築を通して、安心して暮らせるまちづくりの情報発信の場にしましょう。

平成28年10月には、建築士会全国大会が大分県で開催されます。その準備委員会も発足しました。会員皆様のご協力をいただき、成功するよう尽力したいと思っています。

## 25年度公益事業の成果

### リノベーションまちづくり講座シリーズ 魁!!リノベ塾 vol.1・vol.2

大分支部 日高 雄介

#### ■ゲスト講師

vol. 1 嶋田 洋平 (しまだようへい) 氏

1976年 北九州市生まれ  
株式会社らいおん建築事務所  
代表取締役

vol. 2 吉里 裕也 (よしざとひろや) 氏

1972年 京都市生まれ  
東京R不動産 代表ディレクター

#### ■開催趣旨

大分都心南北軸整備事業やJR 駅ビルの開業(H27春予定)、県立美術館の開館(H27春予定)により美しいまちの骨格が形成されつつあります。一方で、まちの中のコミュニティの存在や商店街には再開発による不安があることも事実で

す。我々建築士が先頭に立ってリノベーションまちづくりを実行していく事により、人口減少によって生じるまちなかの余ったスペースの有効活用や、建築士自身も変わりゆく時代の中で新しい仕事のスタイルを身に着ける事が出来ると感じ、【魁!!リノベ塾】を開催する事としました。

#### ■これから

今年度も魁!!リノベ塾は引き続き開催し、今後は大分でのリノベーションスクールの開催も視野に入れ活動を進めていきます。この活動が大分を飛び出し、ひいては九州全体の色々な場所が地方都市としての価値を高めていく事を期待します。

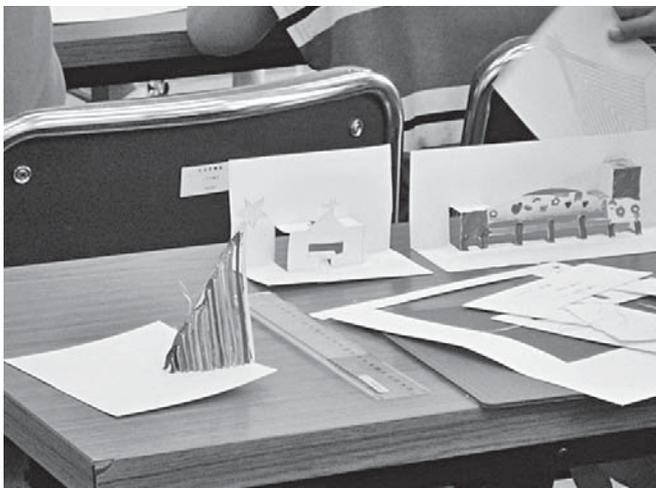


# 25年度公益事業の成果

## 13年目を迎えた折り紙建築教室

大分支部 山崎 真司

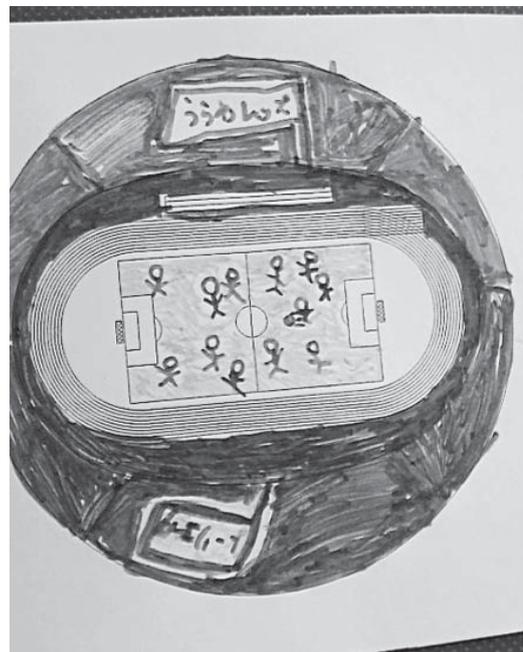
現在、大分支部青年委員会造形班が担当している「折り紙建築教室」は、平成13年からスタートして以来、今年で13年目を迎えました。毎年依頼して下さる公民館や、小中学校、各種イベントでの開催など、活動範囲も少しずつ広がっています。



最近では、小中学校へ行った際過去に折り紙建築教室を体験したことがあるという生徒さんに出会うことが増えてきました。

現在、小学校では危険ということで、カッターや小刀・彫刻刀といった刃物は学校が管理し、その使用については厳しく制限されているそうです。創作に刃物はつきものですが、近年の事件を見ればそれも仕方ないのかもしれませんが、しかし、折り紙や粘土といった工作は、ものづくりの原点です。毎度のことながら、付き添いの保護者の方々も、前半は子

供のサポート役として見守っていますが、子供の集中力が切れ始めたころには、いつの間にか保護者の方々がカッター片手に一心不乱に作品作りに没頭しています。より建築を身近に感じてもらおうと、県立図書館や大銀ドームなど、大分ならではの作品も作れるようにしています。



↑ 大銀ドームに色を付けて、トリニータ対浦和レッズで、1-2でトリニータが負けていると話してくれました。確かにブルーが少し多めに塗られていました。

スタートから13年。その頃小学生だった子供は、今では立派な社会人となっています。近い将来、建築を志すきっかけは、小さい時の「折り紙建築教室」と建築士との出会いでした。なんて話が聞ける日が来るかもしれません。資格や職業を知るだけでも、一つ将来の選択肢が増えることとなります。

現在は、折り紙建築委員から造形委員と名称が変わっています。いつまでも折り紙建築だけではなく、今後は折り紙建築教室以外の造形活動も広げていければと思っています。もしご提案やご相談等がありましたら、ぜひご連絡ご協力のほど、よろしくお願いたします。

# 25年度公益事業の成果

別府支部 小山 秀輝

## 【折り紙建築教室】

日 時 平成25年9月7日（土）  
午前10：00～12：00  
場 所 野口ふれあい交流センター  
参加対象 同上校区内の小学生  
※低学年生は保護者同伴

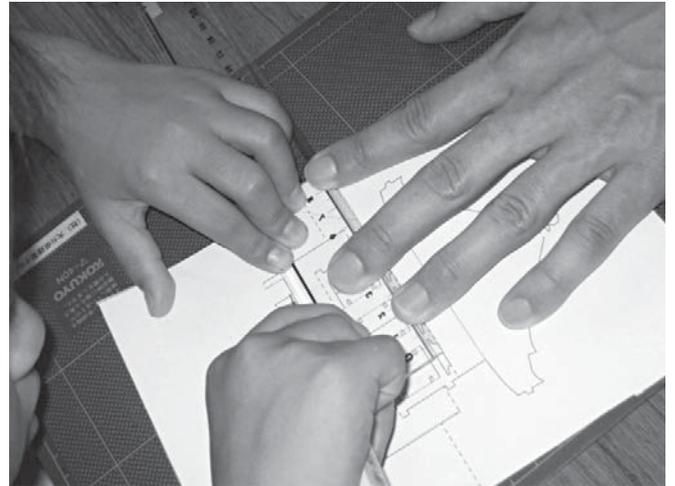
別府支部青年部の活動として、子供たちに建築への興味を持ってもらえることを目的とし、折り紙建築教室を開催しました。

折り紙建築は、1枚の紙を切ったり折ったりしながら、建築物などを立体的に表現するもので、子どもでも簡単に製作ができるため、低学年から高学年まで広い年齢層の参加がありました。



最初に、カッターの使い方や鉄筆の使い方を説明した後で、みんなで一緒に簡単な形状のものを製作しました。その後自分たちで好きなものを選んでもらい、時間内で自由に組み立ててもらいました。選んだものの難易度や個人差はありましたが、概ね2時間で2、3作品作ることができました。

また、帰ってからも造りたいと、型紙を何枚も持って帰る意欲的な子どももいました。



今回、保護者として参加されたお母さんやお父さんも一緒になって楽しんでもらい、建築に興味をもってもらうことができたことと実感しており、別府支部青年部としては今後もこの活動を続け、より多くの子ども達に広めていきたいと考えています。

## 【泉都別府が誇る歴史的建築物写真展】

場所・日時 別府市役所1階ロビー  
平成26年1月20日（月）  
～1月24日（金）  
J R別府駅（B-Passage内）  
平成26年2月3日（月）  
～2月10日（月）

昔から温泉地として栄えてきた泉都別府には、その歴史を刻んできたすばらしい歴史的な建築物が今も数多く残っています。それらの建築物は、その地域の人たちや観光で訪れた人たちを、見守り魅了し続けてきました。

別府支部では、それらの建築物をこれからも大切に、後世に伝え、また別府を訪れた人たちに広く知ってもらうことを目的として「泉都別府が誇る歴史的建築物写真展実行委員会」を発足しました。

今回の写真展では、文化財に指定または登録されている建築物を対象に、十件の写真及び解説を展示しました。

通りがかりに足を止め、写真や解説をじっくりと見ている人も多く、市報に載せた開催案内で知ってわざわざ見に来る人もいるなど、好評を得られました。

平成26年度も引き続き、場所を変えながら開催していきたいと考えております。



別府市役所1階ロビー



J R別府駅 (B-Passage内)



J R別府駅 (B-Passage内)

### 【建築無料相談】

日 時 平成25年11月～平成26年3月(各月1回)

午後 1:00～4:00

場 所 別府市役所1階ロビー

一般消費者の利益の擁護または増進を目的として、月に一度建築相談室を別府市役所1階ロビーに開設し、建築に関わる様々な悩みや相談にお答えしました。

市報による広報を行い、1日4、5人の相談者が窓口を訪れました。その内容は、家の耐震化や断熱化等のリフォーム相談、アパートの改修、建物の解体、住宅ローンなど、多岐にわたるものでした。

相談員は、設計事務所、施工業者、行政OBなど幅広くお答えできるようペアを組み、相談にあたりました。

今後も、建築関係者に知り合いがないという一般消費者のため、気軽に相談ができる窓口として定期的に行っていきたくて考えております。



開設状況 別府市役所1階ロビー



相談状況 別府市役所1階ロビー

# 25年度公益事業の成果

玖珠支部 白地 泰憲

玖珠支部では平成25年度の公益事業として「玖珠郡教育会館」（旧玖珠税務署）の建物調査を実施しました。この調査は既存建物の各部計測の上建築図（意匠図）の作成とこの公益事業の成果報告としての関係者向けの調査報告会の開催を目的としました。

建物調査は図面作成ごとに四班に別け各部計測をして班ごとに図面の入力を行いました。

調査は平成25年9月25日の午前9：00より会員15名で外部寸法の計測や小屋裏及び床下の構造部材の計測と各部の写真撮影を行い詳細に記録調査しました。

この調査データにより図面入力を行い合わせて報

告会向けの資料を作成しました。

作成資料の概要は下記の通りです。

## 建築図（意匠図）

- ・建物概要及び仕上表・配置図・1階2階平面図・立面図（四面）・断面図～A3版7枚
- ・調査報告書～A4版（パワーポイントデータ）

## ※建物概要※

- ・玖珠郡教育会館（旧玖珠税務署） 木造2階建て  
延べ面積 378.43㎡
- ・建設年代 昭和9年4月～森税務署（業務開始）

## 玖珠郡教育会館(旧玖珠税務署)建物調査報告

調査日 平成25年9月25日



公益社団法人 大分県建築士会玖珠支部

数回の役員会において成果データの内容を検討し  
報告会用の資料を作成し当日発表しました。

調査報告会は平成26年2月14日17：30よりホテル  
清流にて関係者48名の出席にて開催しました。

尾方支部長の挨拶に始まり浜田県議、教育会館代  
表者のご挨拶につづき来賓の紹介後に約20分間の  
調査報告をプロジェクター投影にて説明しました。

その後の質疑応答では建物歴史について指摘があ

り調査不足の点が確認できました。

成果品の資料を関係団体に尾方支部長より贈呈し  
報告会を終了しました。

調査報告会に続き懇親会では関係者から様々なご  
意見、ご指導を頂き今後支部公益活動に役立てたい  
と思います。

調査報告資料の詳細については玖珠支部のHPに  
アップし公開を検討しております。

## 調査メンバー



今後の取り組みとして、同時期に建設された豊後森機関庫とともに地元の強い要望で建設された建物として後世に伝える遺産として保存し観光資源としての活用が出来るように建築士の立場で関与したいと思います。

#### 調査状況（外部：高所作業車にて計測）



#### 調査報告会の状況（資料贈呈）



# 25年度公益事業の成果

## 建築防災セミナー講習会

竹田支部 玉田 智

日 時 平成25年9月8日 14:00~16:30  
場 所 竹田商工会議所2階大会議室

竹田市では平成24年7月の大水害の記憶も新しく、いまだに災害復興が各所で進んでおります。忘れられない体験記憶となっていますが、その記憶の新しいうちに、防災への知見を高めてもらおうということで竹田支部では防災セミナーを開催しました。

内容は以下のとおりです。

- ① 大分県防災活動支援センター事務局長 清松 幸生様を講師に招き、突発的な危険に対する考え方や対応について、ビデオを使って講演をしていただいた。
- ② 竹田広域消防署の救命係の方々を講師に招き、救急救命講習を指導していただき、AEDの取り扱いや人工呼吸について学んだ。

参加人数は40人で内、一般の方は23名でした。中には小学生以下が3名いました。

事後、アンケートを一般の方々にとった結果、

- ・災害に対する認識を新たにした。
- ・AEDの使い方が良くわかった。
- ・年々変化する救急方法を要領よく説明していただき良かった。

等なかなか好評でした。

毎年続けて行きたいと思います。



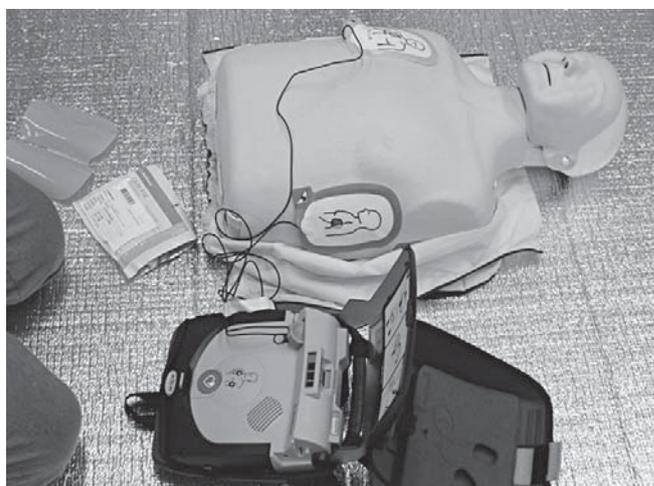
講習会の様子



心臓マッサージの練習



大分県防災活動支援センター事務局長  
清松 幸生 氏による講演



AEDの使い方講義

# 25年度公益事業の成果

## 折り紙建築教室

竹田支部 伊東 政博

日 時 平成25年8月25日 9:30~11:30  
場 所 竹田市立竹田小学校ランチルームにて

今回竹田支部は公益事業での取組みとして、折り紙建築教室を開催しました。地域社会の健全な発展を目的とする事業として、ワークショップ「折り紙建築教室」です。準備段階として、大分支部さん主催の折り紙建築教室にも参加させていただきました。それ以前には直入町長湯にて、建築フェアで大分支部の方に講師に来ていただいて、折り紙建築教室を開催したことはありました。今回開催するに当たりどのように広報するかなど悩みましたが、今回は場所として竹田小学校区に絞り、お話に行き決定としました。今回の講師は江上青年部長が行い、事業部のメンバーが補佐しました。

続いて第2回目は竹田建設会館2階をお借りしました。今回の広報は小学校の校区なく市内全域にしました。



皆さんの作業状況です。



江上講師による最初の話の様子です。



真剣に取り組んでいます。上級に挑戦だ！！



今回の参加人数は12名でした。  
親子で楽しい時を過ごせたと思います。



今回は参加人数22名でした。

今回も何事もなく無事終了しました。お疲れ様でした。

# 25年度公益事業の成果

佐伯支部 小野由美子

## ☆ワークショップ（講師育成の為の折り紙建築）

期 日 平成25年9月19日 開催

### 活動内容

平成25年度、折り紙建築教室を開催するにあたり、数多く開催経験をされた方を講師として招き、実際に折り紙を作成しながら、谷折り、山折りの初歩からカッターの扱い方までは勿論の事、指導の手順、注意事項、マニュアル等を丁寧に説明をしていただき、今後開催される折り紙教室へ向けての講師としての勉強が出来ました。



## ☆ワークショップ（折り紙建築教室）

期 日 平成25年10月25日

### 活動内容

蒲江小学校の図工の時間に6年生19名と先生に折り紙建築教室とは？建築士とは？から説明をして、平面から立体の建築物が出来上がる手順、注意事項を伝え、集中力を養うとともに物づくりの面白さを知り、興味を持ってもらいました。

子供達からも「2時間があっという間に過ぎ、楽しかった」等の感想も聞けたし、中には、中学生用の折り紙を作成する子などがいて、手の器用さに驚かされました。

また、校長先生からは、「機会があれば是非、来年も宜しくお願いします」と、言って頂き、参加された方も先生や子供達から達成感、充実感を教わったのではないかと思います。

## ☆トライアングル94

期 日 平成25年10月26日

### 活動内容

1994年に佐伯支部より、共通の課題と立場を持つ各県の遠隔地域に呼びかけ発足した3地域建築士の研鑽と研修会。

平成25年度で19目年となり、発足当時とは市町村の合併や道路体形等の変化により、辺境地はかなり改善されてきたように見えます。今回は、佐伯市を離れ、別府の路地裏等の建物の散策をし、大分県をより一層知ってもらう為に、情報交換の場を設け

ました。

台風の影響もあり、佐伯着のフェリーの欠航のため、（別府着のフェリーにて）陸路とを合わせ6時間もかかって高知県の幡多支部には、参加をしていただきました。

その中のひとりで高知県の女性職員の方は、九州の地を踏むのは今回が初めてで、別府の路地裏建物散策での昔の面影が残っている建物について興味深く聞いていました。また、参加者の殆どの方が今回の散策では、昔良き時代の流れや、建物などを見聞きすることが出来たと喜んでいました。

今年、発足、20周年です。

幡多支部の方達が記念誌を作成するとともにイベントも考えています。これから先も絶えることなくこの交流が続いて欲しいものです。



## 25年度公益事業の成果

### 白杵城址大門櫓清掃活動と放射線についての勉強会

白杵支部 木村 純孝

平成25年10月27日（日）に、白杵支部では子ども（小学生）を対象に白杵城址の大門櫓の清掃活動と放射線についての勉強会を行いました。

白杵支部では毎年、この時期に大門櫓の清掃活動を行っていますが、今回、子どもたちを対象にした放射線についての勉強会をするにあたり、大門櫓の清掃活動も一緒に経験してもらおうということになりました。

朝8時という早い時間ではありましたが、子どもたちは時間前に集合してくれて時間通りのスタート。準備の段階で少しドタバタもありましたが、問題なく開始することができました。清掃開始してびっくりしたことが一つ。なんと、今の子どもたちのなかには、雑巾をしぼり、板の床を拭いたことがない子がいるという事でした。私達の時代では信じられないことですが、よくよく考えてみると、学校の教室、廊下の床は長尺シートや、タイル張りのところが多くなり、掃除は雑巾ではなく、モップなどを使用しているのでしょう。私の仕事は、長尺シートやタイルを扱うことは多々あるので、大変お世話になっている素材ですが、子どもたちのそういった話を聞くと、時代の流れを感じると共に、少しのさみしさを感じました。

雑巾をしぼることが初めてでぎこちないシグサをみせていた子どもたちも、だんだん慣れてきて、思っていた以上に楽しみながら、しかも、積極的に掃除をしてくれました。



その甲斐あって予定より早く終わり、しかも、室内、外と埃をかぶっていた大門櫓がきれいになりました。

掃除終了後のみんなの笑顔がとても印象的でした。



皆さんも、白杵へ来られた際は、是非、見に来て下さい。

さて、大門櫓の掃除も終了。本題の放射線の勉強会を行うべく、会場まで移動し、いよいよ開始です。



今回、このような勉強会を企画した理由はやはり、福島原発事故です。日々TVから流れるニュースでは、子どもたちには、聞きなれない言葉や数値ばかり。大人から見てもわかりにくく、一体放射線とは？といっても、詳しくは専門知識を持っていない限り説明できない。なおさら子どもたちには、放射線がどういったものか分からないだけに、放射線イコール「怖いもの」としか認識されていないの

ではないか。また、その「怖いもの」というだけのイメージで、あつてはならない子ども間での差別やいじめまであるという話も聞きます。

そこで、建築士として、この「見えない、聞こえない、臭わない、感じない」放射線の勉強会を企画し、正しい知識を実験などを通してつけてもらい、子どもたちの今後の行動、生活に役立ててもらいたいという思いからの企画でした。

大分大学全学研究推進機構の講師をお招きし、「放射線を学ぼう」という題で始まった勉強会。子ども対象のわかりやすい講義といえども、朝早くから掃除をし体力を使っている子どもたちには、先生のプロジェクターを使用した説明は、ただの心地よい子守唄にしか感じないらしく、目を開けているのがかわいそうになるくらいの船漕ぎ。子ども向けといえども「少し難しすぎたかなあ」と思っていたところで、今度は実験スタート。それまで船を漕いでいた子ども達が豹変しました。

実験内容は、普段目にするもの（スーパーで買えるもの、自然界にあるもの）を、放射線量測定器を使用して放射線量の測定。霧箱と呼ばれる、放射線を目で見ることができるようになる実験装置の製作と実験。



実験開始と同時にさっきまでの眠気はどこへやら。至るところで測定器を使用して驚きの声。又、霧箱の実験では、成功する班となかなか成功しない班とが有りましたが、成功した班のところに群がって、みんなで歓声。

確かに講義自体はすこし難しかったかも知れませんが、子どもたちにとっては、実験を通じて放射線の事を少しでも理解してくれたのではないかなと思っています。

講義終了後、質疑応答の時間を設けました。すると、子どもからの質問はあまりありませんでしたが、大人からの質問が多くありました。やはり、放

射線については、子どもたちに正しい知識をつけることはもちろんですが、大人も中途半端な知識ではなく、子どもにしっかり答えられるだけの正しい知識を持つことが必要という事を強く感じました。



今回の勉強会では、どこまで子どもたちに伝えられたか分かりませんが、今後も、何もしないよりは、まず動くという事を念頭に活動を行っていきます。

最後に、準備等に携わってくれた皆様、白杵市生涯学習課の皆様、大分大学全学研究推進機構の矢野先生、心より感謝申し上げます。

# 建築士会入会のご挨拶

佐藤 誠治

建築士会の皆様こんにちは、このたび建築士会の賛助会員に加わらせていただきました。今年（2014年）3月に大分大学を定年退職し、この機会に穴井専務理事に誘われて賛助会員として入会させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。

大分大学で33年間教鞭を執り、一貫して建築や都市計画の教育研究に携わってきましたし、地域の様々な事業に関わらせていただきましたので、建築士会、建築士会会員の多くの皆様とは知り合いの方々が多いのです。入会を機会に、もっとお近づきになりたいですね。

私は4月以降2足わらじを履いています。大分市都市計画課が設置した、「まちづくり情報プラザ」（ホルトホール大分1F）で企画運営のお手伝いをしています。また、「まちづくり研究所」として若草公園の隣のビルの一室を借り小さな事務所を開設して仕事をしています。大分大学現職の頃よりも忙しい毎日を過ごしているのではないかと思います。また、社会とのつながりを継続するために、facebookを活用しています。個人のページ(seiji sato)と、まちづくり情報プラザの2つのページを運営していますので是非ご覧ください。友達申請大歓迎です。facebookでのコンタクトをお待ちしています。

さて、話は変わりますが、近年の日本の建築を取り巻く状況を見ると建設技術、設計、デザインは世界のトップを走っていると確信していたのですが、建築のオピニオンとして世界をリードしているのかについてはすこし疑問を感じてしまいます。国立競技場の改築の件は日本の建築界を代表する学術・芸術界、行政、スポーツ界の方々が計画と設計審査をしたはずですが、意外な方向に向かって取り返しのつかない結果になるのではないかと危惧されます。日本の社会、建築界の現状は成熟度が今ひとつと言ったところかなと思います。これからどのようにして落ちた建築界への信頼を回復するのかをみたいと思っています。

以上簡単ですが入会のご挨拶でした、今後ともよろしくお願い致します。



# 平成26年度 九州ブロック 建築士の集い 長崎大会 in しまばら レポート

大分支部 首藤 顕道

去る6月28日(土)、長崎県島原市において「九州ブロック 建築士の集い 長崎大会inしまばら」が開催されました。一昨年の鹿児島、昨年の日田に続き、今年で三回目の参加となりました。

## ■研究集会

島原復興アリーナにて開催された研究集会のテーマは「『自然災害からの復興』～雲仙普賢岳大火砕流から23年を迎えて～」ということで、開会に先立ち一分間の黙とうが行われ、犠牲者の方々へ祈りを捧げました。23年前、中学生だった私はテレビで火砕流のことを知りましたが、火砕流のあまりの凄まじさに、どこか遠い世界の映像のように感じたことを覚えています。時を経て、島原という場所でこのような催しに参加し、改めて災害の傷跡は未だ人々の心の中に深く残っているのだということを感じました。



地域実践活動発表は、各県8分の持ち時間で発表が行われました。大分県からは大分支部（発表者：日高雄介さん）が代表として発表しました。

タイトルは『続・まちと建築士』。大分支部では昨年の日田大会でも『まちと建築士』というタイト

ルで地域実践活動の発表を行っており、まちとの関わりに終わりは無いという意味も込めて、その後の活動内容を発表しました。昨年まで開催してきた、西村浩さんや山崎亮さん、大島芳彦さんの講演から、まちと関わる上で最も大切なのは【人】だという結論を導き出し、開催中の『魁!!リノベ塾』へと言及していきました。ホルトホールや大分県立美術館、JR大分駅ビルなど、大分市は今、続々と美しい骨格ができつつあります。そこで、まちの血肉となるべき【人】を育てる場をつくることを目指し、この『魁!!リノベ塾』を開催しているという内容でした。

発表終了後に行われた投票により、九州ブロック代表に選ばれたのは長崎県建築士会の『市民のニーズを顕在化する景観整備機構～岩原川プロジェクトの取組～』でした。このプロジェクトは、長崎市内を流れる岩原川の河口付近が暗渠となっていたものが解体され、地域の周辺整備とまちなみづくりの枠組を住民参加型で行うというものでした。既に5回のワークショップを開催されており、建築士会として地域とどう関わるかという大変興味深いテーマを持った発表でした。



分科会は、第一分科会の「地域実践活動 テーブル討議」にテーブル担当者として参加しました。テーブル討議は、各県の地域実践活動発表を基に、10名程度のユニット毎に更に掘り下げた議論をし、それをまとめたものを最後に発表する形式でした。テーブル討議担当者ということで、発表内容の補足説明や全体のファシリテーターを務めました。

大分支部の活動は、実績として目に見えるモノが無く、各県の参加者もどこから手をつけてよいのかわからないという印象で、大変難しい議論だったと思います。その中でも多く質疑があがったのが「どのようにして建築士会以外の参加者を集めているのか」ということです。これに対しては「大分都心南北軸整備事業に建築士会として関わって以来、様々な活動で関わってきたヒトやコトが点から面になりつつある。その積み重ねが『魁!!リノベ塾』の開催をきっかけに噴出したと考えている」と回答しました。この質問からも分かるように、各県の建築士会も会員以外の人を集めることに相当苦勞されているようです。大分支部が一つの答えを示すことができたことは評価頂いたと感じています。

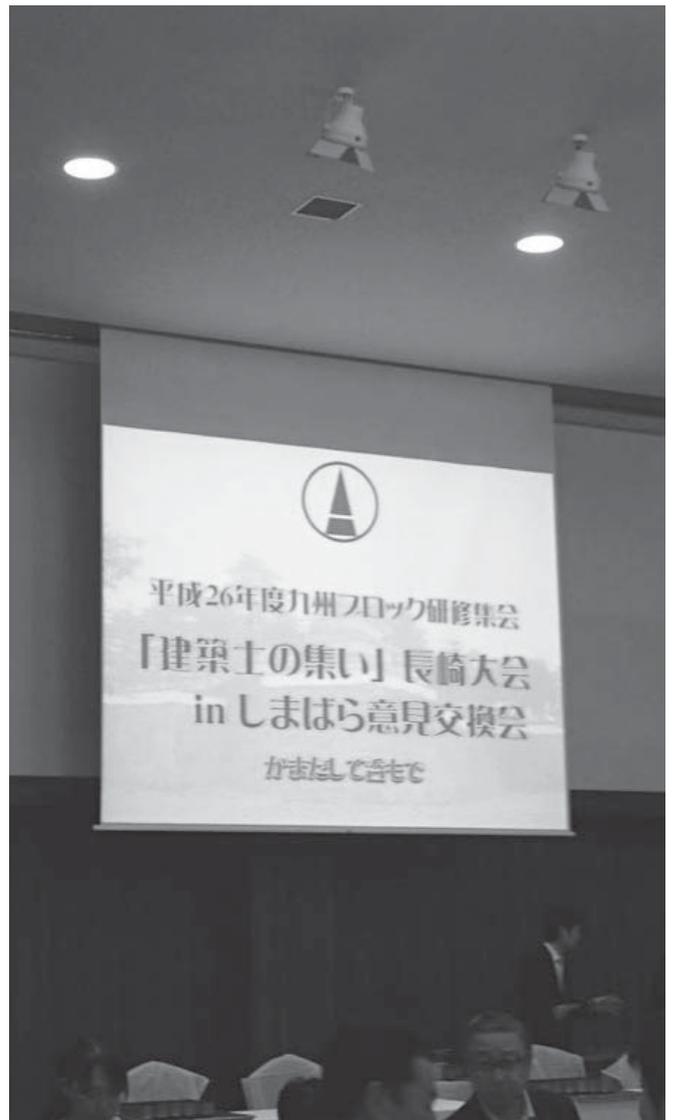
## ■意見交換会

研究集会終了後には、ホテルシーサイド島原において恒例の意見交換会が開催されました。テーマは『がまだして呑もで』で、この「がまだして」というのは島原地方の方言で「頑張って」とか「精一杯」という意味だそうです。

オープニングアトラクションでは季文馨さんによる二胡の演奏が行われました。二胡は初体験でしたが、とても幻想的な音で引き込まれるような感覚でした。また最後には「アナと雪の女王」のテーマ曲を弾き語りで披露され、タイムリーな選曲に拍手喝采が送られました。

余興では各県対抗の「わんこそうめん早食い大会」が行われ、何と代表は各県の会長でした。我らが井上会長も参加され、次々とつながれるわんこそうめんに挑んで頂きました。各県会長が参加されたことで、会場も大変な盛り上がりとなりました。

会場では新鮮な魚介類や手の込んだ料理が振る舞われ、お酒を酌み交わしつつ、各県の建築士の方々と大いに懇親を深めることができました。



今回の建築士の集いは、大分支部による地域実践活動の発表もあり、苦勞する部分も多かったですが、その分例年とは違った充実感を味わうこともできました。一年に一度、九州の建築士が集う『建築士の集い』。今年も多くのヒトと出会い、多くのコトを学ぶことができました。来年の佐賀大会にもぜひ参加したいと思っています。

最後に今回の投稿にあたり、写真を提供頂いた日高雄介さん、事務局の若松加奈子さんに感謝いたします。

# 平成26年度 九州ブロック 建築士の集い 長崎大会 in しまばら レポート

別府支部 籠田真一郎

今回、青年委員長としてはじめて集いに参加しました。

少しの不安や楽しみなどいろいろな想いを胸に、竹宮前青年委員長と一緒に大会前日の夕刻に島原入り。ホテルにチェックインしてすぐに、九プロの懇親会に参加し、2次会まで盛り上がりました。

大会当日は、朝9時から九州ブロック青年・女性建築士協議会に出席しました。今回新体制で初めての協議会でしたが、九プロの新会長の熊本の甲斐会長を中心としてこれから九州一つになって頑張っていくことに、微力ながら一助になればと思った次第です。

さて、午後1時から集いが開会しました。メインの各県の地域実践活動発表は、はじめて審査をする立場でしたので、これまでで一番真剣に聞かせていただきました。

大分の日高君、首藤君ホントにお疲れ様でした。結果は残念でしたが、引き続きの活動を期待しています。

分科会は第1分科会に参加しました。地域実践活動のテーブル協議で、私は沖縄県のテーブルでした。那覇市民会館の保存運動のイベントについての活動報告でしたが、沖縄県での歴史的建築物の保存活動の難しさを伺い、意外な思いもありましたが、地道に活動している方々に敬意を表したいと思いました。

分科会の後は、全体会で分科会報告があり、閉会式。そのあとはメインの意見交換会に突入しました。

意見交換会は、いろんな人との交流ができてホント楽しく過ごせました。各県の挨拶は緊張してしまいましたが・・・。(江上さん、歌ありがとうございました。)



【分科会の様子】



【会場前で別府支部メンバーと記念写真】

また、井上会長にはアトラクションに参加いただきありがとうございました。無謀な企画（島原そうめんの早食い競争）で申し訳ありませんでした。若松さんもお手伝いお疲れ様でした。

意見交換会終了後は、もちろん島原の夜を楽しませていただきました。

次の日は、別府支部メンバーと井上会長も合流して島原見学をして、帰路に着きました。

青年委員長として初めてで、戸惑うことも多かったのですが、楽しく過ごすことができました。みなさんありがとうございました。

これから2年後の全国大会に向けて、また楽しい青年委員会活動ができるように、役不足とは思いますが青年委員長として頑張っていきたいと思えます。皆さんのご協力をお願いします。



【島原城で記念撮影】



## 大分支部活動報告

大分支部 桑野 尚樹

平成 25 年 10 月 5 日（土）に大分支部主催のホルトホールバックヤードツアーに参加しました。

一級建築士設計製図の試験対策として、施設のスケール感覚を肌で感じ取れる機会をとの趣旨で開催すると聞いたので、製図試験を控えていた私としてはぜひ参加したいと思い参加しました。

はじめに、ホルトホールの設計から建物の竣工、その後の施設管理に携わっている大分市役所駅周辺総合整備課の足立さんから建物の概要などを説明していただきました。

ホルトホールは大分市の運営する施設で、大小のホール、研修室、図書館、保育施設、喫茶店、銀行、スポーツジムなどを備えた複合施設で、S 造（一部 S R C 造）・延べ床面積 36,904.66㎡とのことでした。

説明の中で当施設は「全館非難安全検証法」を採用しているとの話がありました。「全館非難安全検証法」とは、より安全な建物にするため火災時において全ての在館者が安全に避難する事ができるよう特別に設備を設け安全性を検証する方法との事で、試験勉強では文字でしか見ないものを実際に建物として見ることができ、大変勉強になりました。

【ホルトホール大分の内観】



説明が終わり施設見学を行いました。

全体的に広い空間、各施設へのアクセスが便利で、隣接の広場とも一体利用できる施設だと感じました。

1 階ホールの視覚障害者の点字ブロックの所では、視覚障害者が持っている杖の先の磁石に反応し各施設の位置をその方向から音声で誘導案内する設備を、実際に音声案内を聞かせてもらいながら案内して頂きました。

当日は、施設利用者が周囲にいる雑然とした中でしたが、しっかりと音声案内を聞き取ることができました。方向性のあるスピーカー（ある方向にのみ聞こえるもの）を使用しているのだと思います。屋上階の機械スペースでは、大型チラーやダンパー並みの大きな発電機など普段見ることのできない設備も見ることができました。廊下幅のスケール感などを実際に感じ、また勉強の合間の一息にもなり、貴重な時を経験することができました。おかげさまで何とか私も、一級建築士に合格することができました。見学する施設は変わるようですが、毎年このような施設見学を開催しているとのことなので、皆さん参加されてはいかがでしょうか。



【ホルトホール大分の外観】



### 第35回 臼杵土木事務所所長杯 県南支部交流ソフトボール大会

佐伯支部ソフトボール部部长 竹津 昌洋

平成26年5月18日（日）佐伯市上浦B & G球場にて開催しました。

佐賀関支部、臼杵支部、津久見支部に昨年より豊後大野支部、竹田支部、佐伯支部が加わり6支部にての大会となりました。



皆さん 知ってました？ソフトボールって1887年の感謝祭の日、アメリカ合衆国イリノイ州シカゴにおいてジョージ・ハンコックが冬季に野球を練習するためのスポーツとして発明しました。そのため当時は“インドア・ベースボール”や“プレイグラウンドボール”と呼ばれていました。

日本における最初のソフトボールは、1921年（大正10年）アメリカ留学から帰国した東京高等師範学校教授 大谷武一や石黒寅次によって、学校体操科の遊戯として紹介されたことにはじまります。石黒寅次は、日本初の国際審判員であり、昭和天皇からの勲章をはじめ、総理大臣からも数々の賞を授与された歴史があります。

今回はそういった背景の中、佐伯支部がホスト役になり支部一丸となって「お・も・て・な・し」をしました。他の活動はさておき、ソフトボールには

目の色を変えて取り組みました。しかし、ホスト役なので今回は立場をわきまえてか実力なのか、1回戦大敗でした。予算組み、準備等支部内では皆の協力があって楽しい大会が出来たのではと思っています。

次回開催地は、快く竹田支部さんが引き受けてくれたので竹田では暴れまくろうと今から燃えています。御馳走も期待感で胸を踊らせています。



最後になりましたが参加された各支部の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。これからもソフトボールの歴史に自分達の思い出を刻んでいきましょう。

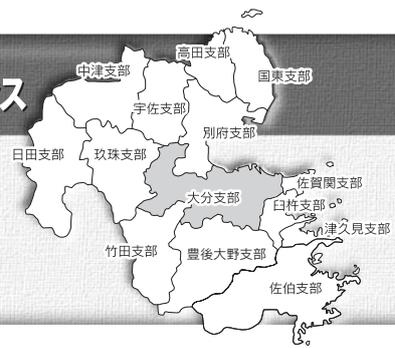


# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★生 年 昭和62年
- ★勤 務 先 株式会社 佐伯建設
- ★趣 味 旅行・カメラ
- ★将来の夢、モットー等

佐伯建設 設計部の小仲と申します。よろしくお願いたします。

夢というよりは、野望みたいな物なのですが、生活の一部に当たり前に存在している「建築」の素晴らしさを、たくさんの人に伝えたい！…というのはまだまだ図々しいので、一緒に探したい！という事はずっと思っています。

「建築」というものがマニアックな世界で、内輪だけが盛り上がるのではなく、もっとオープンに、誰もがすでに、輪の中にいるということに気付けば、その人自身の生活・環境がより豊かになるのではないかと考えます。その、サポート、もしくは導いてあげる事が出来るような建築人になりたいと思っています。



小仲裕一郎 (大分支部)

- ★生 年 昭和62年
- ★勤 務 先 大分市役所
- ★趣 味 音楽鑑賞、旅行
- ★将来の夢、モットー等

建築士会大分支部に入会し、3年目になります。これまではフィールドワークのお手伝いをしたり、講演会に参加させてもらったりとても貴重な経験をさせていただきました。今後は更に積極的に参加し、士会の先輩方と交流を持ちたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。まだまだ未熟ですので、今後は建築の知識・経験を増やし、地域に貢献できるよう努力したいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



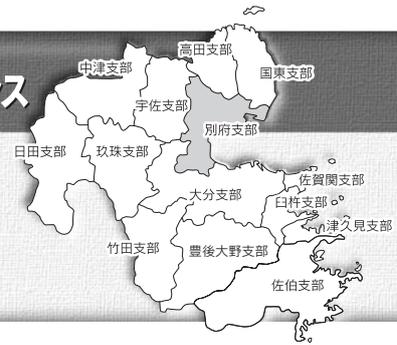
利光 由江 (大分支部)

# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★生 年 昭和58年
- ★勤 務 先 別府市役所
- ★趣 味 旅行、子供と遊ぶこと
- ★将来の夢、モットー等

職場の先輩に士会の話聞き、興味を持って入会しました。  
職場をかえたばかりで覚えることも多く、大変ですが、  
新しいものを見ることも多く新鮮な毎日です。  
すべてにおいて勉強中ですが、よろしくお願いたします。



古本 学 (別府支部)

- ★生 年 昭和50年
- ★勤 務 先 杵築市役所 建設課
- ★趣 味 山登り、マラソン、飲み歩き
- ★将来の夢、モットー等

別府支部の興田（おきた）と申します。  
以前は大分市内の設計事務所に勤めていましたが、現在は杵築市役所に途中で採用され5年目となります。  
建築士は常に勉強し、いろんな物事に好奇心をもって望まなければならないと思っています。  
最近、週末は別府によく飲みに行きますが、居心地がいい場所とはどういうものなのかということを考え、外観やインテリアを研究し、そこにいる人達に意見を聞くということ心掛けています。  
最後に今後の目標ですが、歴史的な建物をどのように保存し活用するのか、古い建物や空き家などをどのように再生し、活用していくのか、その場所にしかない利点を活かしつつ、リノベーションやリフォームする方法を考えていきたいと思っています。



興田 昌英 (別府支部)

# MY WORK

- ★建物名称 O邸
- ★建築場所 中津市
- ★設計者 一級建築士事務所 たかせa.o
- ★構造・面積 木造2階建て 215.29㎡
- ★用途 住宅
- ★設計趣旨

- ①モダンなデザインでありながら躯体には県産の杉を中心とした在来軸組工法です。
- ②プレカット工場での加工はせずに、地元の若い大工さんが手で刻んでいます。
- ③そこには家族の繋がりが生まれるように、真ん中には大きな吹抜け空間があり、その暖房には、薪ストーブを採用しました。
- ④吹抜け直下のダイニングと庭とを繋ぐリビングはスキップダウンすることで天井高が高くとれ、庭との距離感も近くなっています。



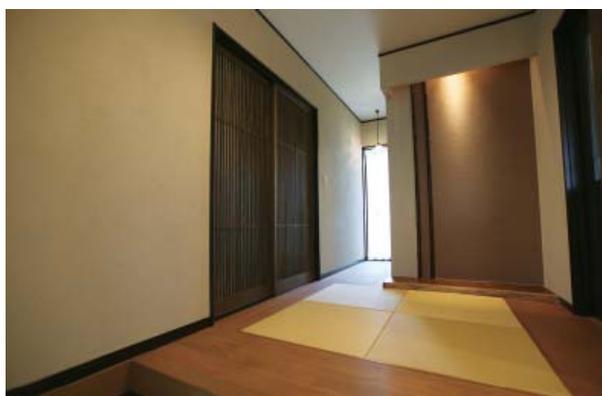
- ★建物名称 S邸
- ★建築場所 大分市横尾
- ★設計者 T's architect竜一設計工房
- ★施工者 有限会社 山上建設
- ★構造・延床面積 木造平屋建て 180.95㎡
- ★用途 一戸建ての住宅
- ★設計趣旨

大分市横尾に建つ、東に九六位の山並みを望む。定年を迎えた初老の夫婦のこだわりの家です。和のしつらえに和み、やすらぎ、落ち着く 仕上がりとなっており、夫婦の趣味を末永く楽しめる空間となっています。



# MY WORK

- ★建物名称 T様邸
- ★建築場所 佐伯市鶴岡西町
- ★設計者 高瀬一級建築士事務所  
高瀬泉
- ★施工者 (有)ウイズホーム
- ★構造・面積 木造二階建て 153.68㎡
- ★用途 専用住宅
- ★設計趣旨  
閑静な住宅地に建つ、ゆとりのある住まい



# BOOK My Best Book

マイベストブック

【おこりんぼママ】ユッタ・パウアー 作・小森香折 訳／小学館  
玖珠支部 梅木 恵美

今回ご紹介する本は「おこりんぼママ」という、絵本です。

私は3年生の男の子と、2年生の女の子のママです。きっとこれを読んでいる方の大半は男性で、パパや、おじいちゃんや、独身であったりするかもしれません。きっとママのほうが少数派でしょうが、あえてこの本を紹介したいと思います。

この本のテーマは、『ママの愛情』だと思います。しかし、ママとしては「ドキッ」とするタイトルになっています。

この絵本には、ペンギンの親子が出てきます。ママが、ぼくを、ものすごくどなります。すると体がバラバラになってパーツが飛んで行ってしまいます。宇宙に、海に、ジャングルに、世界のあちこちに。結構シュールな内容です。足だけになってしまったぼくは、体を探す旅に出ますが…というお話です。でも、最後にはママがかけらをすべて集めて縫い合わせ、「ごめんね」と言って抱きしめてくれます。

子どもを育てる毎日で怒らないママはきっといません。ママはいつでも、子どもを大切に思っていま

す。でも、毎日いろんなことがあり、ついつい、怒ってしまうのです。感情に任せてあんまり激しく怒ると、怒られる子どもは、きっと心がバラバラになってしまうような寂しさを感じてしまうのでしょうか。パーツを拾い集めている間、ママはきっと怒ったことを後悔し、反省していたんだろうなあ…と、私はママの立場になって考えてしまいます。

ママの役割は、バラバラになった心をひとまとめにして、ぎゅーっと抱きしめて元どおりにし、愛情をたっぷり伝えて包み込むことだと、ママの立場と責任を気付かされます。「やっぱりママがいちばんさ」というラストページではやさしい気持ちになり、読み終わって扉絵（中表紙）を振り返って見ると、キュンとしてしまいました。

たとえばママも、現在ママじゃない方も、自分が子どもの頃に置き換えて子どもの立場で読んでみてはいかがでしょうか。

やさしい色合いの絵と、短い文章の絵本ですが、ママと子ども以外にもお勧めしたい、何度も読み返すと深い内容の絵本です。



# BOOK My Best Book

マイベストブック

宇佐支部 久保 啓

はじめまして、宇佐支部の久保と言います。建築士会宇佐支部に入会して早34年を迎えようとしています。早いですね～と言いますか、私が単に年をとっただけですけどね。とにかく、毎週月曜日夜9時からBS・TBSで放送されています「吉田類の酒場放浪記」を仕事よりもこよなく愛している酒飲みオヤジです。

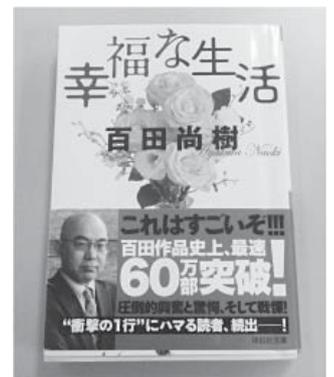
今回、「建築士おおいた」のマイベストBOOKの記事を依頼され、さて困りました。作文なんていつ以来ですか、いつ書いたか記憶にないほど昔のことです。

前置きが長くなりましたが、最近読んだ本のマイベストBOOKですが、有川浩の「三匹のおっさん」と直木賞受賞されました池井戸潤の「下町ロケット」最後に百田尚樹の「幸福な生活」この三冊の本を紹介します。この三冊はすべて早朝、犬の散歩の時にラジオで紹介されていたのを聞いて早速購入し完読しました。

「三匹のおっさん」還暦ぐらいでジジイの箱に蹴りこまれてたまるか、とかつての悪ガキ三人組が自警団を結成。剣道の達人・キヨ、柔道の達人・シゲ、機械いじりの達人の頭脳派・ノリ。近所に潜む悪を三匹のおっさんが斬る。とにかく読み終えた感想は、還暦を迎えたおっさんたちの活躍が何とも爽快です。自分に無いものに憧れ「もっとやれ」と思わずにはられません。好評につき2014年1月から3カ月程テレビ放送もされました。

「下町ロケット」研究者の道をあきらめ、家業の町工場・佃製作所を継いだ主人公の町工場社長の佃航平は、製品開発で業績を伸ばし軌道に乗っていたそんなある日、商売敵の大手メーカーから理不尽な特許侵害で訴えられる…。この小説は、冒頭の取引停止と資金繰りの話からぐいぐいと引き込まれていきました。主人公の町工場がどうなっていくのかと気になって先へ先へと頁を繰っていきました。一難あってまた一難。でも自分たちが研究してきた技術に自信と誇りを持ち、大手企業のいじめにも負けず、あきらめずに下町の工場から宇宙へ飛び出すロケットの部品を作る夢と希望を持たせる作品です。

最後に「幸福な生活」全19編から構成されている短編小説で百田尚樹と言えば、あの「永遠の0」の作者としても有名な作家で、皆さん読まれた方は、あの長い長い長編小説に途中飽きた方もいらっしゃるのではないかと思います。それに比べてこの「幸福な生活」は20頁前後の短編で、最後の「衝撃の1行」にハマる読者が続出とのこと。他に読者の感想として「最後の1行で奈落の底へ突き落とされる気分だった」「怖い。その一言」いちど皆さんも騙されたと思って本の中を覗いてみてください。きっと虜になると思いますよ。



# おおいた建物発掘隊

豊後大野市編

豊後大野支部 佐藤 勤也

豊後大野市は2013年9月24日に「おおいた豊後大野ジオパーク」として、姫島村と共に大分県ではじめてジオパーク認定を受けました。これは9万年前の阿蘇山噴火によって作られた滝や崖、棚田群、石橋群、磨崖仏など巨大な噴火と人々の関わりがテーマです。

その流れ下った溶岩流が溶結凝灰岩として至る所に柱状節理を呈していますが、その岩を原料として石橋が作られています。大分県は全国で一番石橋の多いところらしいですが、わが町もご多聞にもれず遺物として、また、まだ現役として使われて残っていますので、私の近くのものを紹介しようと思います。

中でも宇田枝井路に架かる石橋は、江戸時代岡藩

の家老横山甚助が計画したのが始まりで、途中百姓一揆で失脚し、紆余曲折を経て明治26年に完成を見ましたが、その時に作られたものであります。

私はこの井路に管理人として8年間たずさわって来て、山の中を走る延長12キロに及ぶ井路ですが、橋のみならず側壁、擁壁としてふんだんに使われていますが老朽化して心もとないところも多々ありますが、先人たちの叡智や労苦に思いを馳せるとき敬意は勿論の事昔の姿を出来るだけ長く維持しなければとの使命を抱きます。

この井路は三次に渡る困難を克服して完成をする訳ですが、一次開通の際近くの宝生寺で祝賀会を開いています。1450年に建立されたその宝生寺と共にご紹介します。

(宇田枝井路は流域80haを潤しています)。



名 称	所 在 地	解 説
天然橋 	清川町宇田枝	大正10年 (1921)  清川町伏野宇目線の手前左草区と宇田枝の境界に架設される重要な橋であった。昭和60年8月上流側に道路改良に伴い新橋架設により現在は廃橋保存されている。記念碑と説明板あり。石工、山下嘉平、外3名。
岩上橋 	清川町宇田枝	大正8年 (1919)  宇田枝地区内を奥嶽川に沿って逆らって行くと旧道に石供橋あり。清川町内ではふるい石橋であるが資料も記念碑もなく詳細は不明。昭和50年3月下流側に道路改良に伴い新岩橋が架設され現在は歩道橋として利用されている。伝えによると大正8年に架設という。記念碑はないが説明案内板はある。石工不明。
清水橋 	清川町六種	大正12年 (1923)  清川町宇田枝地区から左右知地区へ向けて奥嶽川沿いを進むと最初の石橋である。二連のアーチ橋で大正13年7月完成。記念碑なし、石工不明。川幅が広いので比較的大きな石供橋で架橋に当たってはかなりの負担と困難があったと思われる。
宇田枝井路2号橋 	清川町左右知	石工、界寿光、佐藤近義 水路橋
深谷橋 	清川町左右知	江戸末期～ 明治初期  清川町左右知地区の字小鶴の深谷川に架かるやや小形のアーチ橋である。現在は林道として活用されている。この道は御嶽神社への旧参道であると伝えられている。周囲に樹木が乱立し橋そのものは見にくくなっているが、未だしっかりと保存されている。架設年は不明だが、江戸末期か明治初期と推定。石工は佐藤伊三太、案内板設置、市文化財指定。
宇田枝井路3号橋 	清川町左右知	

名 称	所 在 地	解 説
轟橋 	清川町平石	昭和9年 (1934) 昭和のはじめ国有林から多量の木材を搬出することを目的とし森林鉄道が清川村牧口まで建設された。轟橋は奥岳川を渡る軌道橋として昭和9年(1934)完成右岸側31.6m、左岸側26.2mの径間は国内最大である。現在は、車道となっている。 (豊後大野市文化財ハンドブック) 石工、山形県、工藤武士
出合橋 	清川町平石	大正14年 (1925) 清川町平石地区と轟地区への重要な交通路に架設されたもので、また左右知地区への重要な橋であった。上部に道路改良に伴い新しく、轟橋、を架設したため廃橋となったが、下方から眺めると、この二つの石橋が二階造りに見える。径間は九州で1位・2位を占める。大正14年完成。記念碑なし。石工、界寿光、山下嘉平
宇田枝井路1号橋 	清川町左右知	石工、山下嘉平 水路橋、水路上に鉄板歩道
宝生寺参道橋 	清川町宇田枝	
宝生寺 	清川町宇田枝	宝生寺は久安年中鎮西八郎源為朝公が初めてこの地に建立したといわれています。現在、本堂に安置されている等身大の十一面観音坐像が俗に「為朝公背負い仏」と称されて当初の本尊であった。宇佐八幡の化身で源氏累代の鎮守仏であって国家鎮護、武運長久を祈って祀ったという。その後、宝徳二年、豊後の太守大友出羽守親隆の祈願によって再建された。庫下豊富で、平常の僧侶は百指を数えたという。大友出羽守親隆公の香華院とも呼ぶ宝生寺は臨濟宗妙心寺派の古刹です



# マーボの旅先日記 其の1



会長 井上正文

【建築士おおいた】のスペース調整にと思いたち、このコラムを始めることにしました。これから、会員の皆様に不評を買わないかに目配りしながら続けていきたいと思ひます。もちろん堅い話はなしで行きたいと思ひます。

実は、ここのところやけに出張が多く、国内だけでなく今年海外出張も3回になりそうです。こういった出張先での出来事をネタに、このコラムを続けていきたいと思ひています。ちなみに表題の「マーボ」は私の幼少のころの呼び名です。

さて、初回は今年8月中旬に訪れたカナダ（ケベック）での話題です。ここケベックには、世界木質構造会議（WCTE2014）参加のため出向きました。ここは、カナダのケベック州の州都ですが、周りから聞こえてくる言葉は、フランス語一色。昔はフランスが支配していたところだそうです。今も、スコットランド同様に、カナダからの独立を目指す動きもあるとか。

本題ですが、ここで41年ぶりの大学時代の友人との再会がありました。この彼は大学卒業直後にカ

ナダに単身渡り、建築設計の仕事をしてきた男です。最初は現地の設計事務所です。その後、ケベック州の【建築家資格】を取得して独立し、設計事務所を運営してきたとか。ケベック州の建築家資格では、建築関連の試験のみならず【フランス語能力試験】が課され、流暢にフランス語を話せる能力が問われるとか。これに一番苦勞したそうです。流暢にケベック人並みにフランス語を話せるようになるのは大變だったと思ひます。いろんな意味で私なんかより、ずっとずっと棘の道を歩んできた彼に脱帽でした。現在は、ケベックからバスで3時間くらいのモントリオールにカナダ人の奥さんと2人暮らしだそうです。昔ばなしやカナダでの苦勞話に花が咲き、あつという間の2時間でした。

写真は、出会ったホテルでのツーショットと41年前に大学時代の友人3人組で山口のザビエル教会（その後消失）を訪れた時の写真です。左がカナダの彼（平野君）、右は九州大学教授の前田君です。真ん中が私です。まさに41年の時空を超えた2枚です。（笑）



41年前



現在



## 事務局だより

★おめでとうございます。第26回住生活月間功労者国土交通大臣表彰を芳山憲祐前会長が受けられました。住宅関連業務を主に、建築士会活動、文化財関連業務の他ボーイ・ガールスカウト指導などの幅広い活動が評価されました。

★募集案内が予定されている建築士会主催の講習会等です。

研修会・講演会名	日 時	場 所
・ 第2回建築セミナー	平成26年11月8日	豊後大野市
・ 法定建築士定期講習会	平成26年12月3日 9:20～	大分県教育会館
・ 小規模建築物を対象とした地盤・基礎講習会	平成26年12月12日 13:30～	ホルトホール409会議室
・ 建築士業務の紛争・保険・処分事例講習会	未定 (12月～1月)	未定 (DVD研修)
・ BIM活用研修会	平成27年1月24日 PM	ホルトホール408会議室
・ 法定建築士定期講習会	平成27年2月26日 9:20～	大分県教育会館
・ 天井落下防止対策講習会	随時可能 (要望に応じて)	事務局等 (DVD研修)
・ 実務者のための工事監理ガイドラインの手引き講習会	随時可能 (要望に応じて)	事務局等 (DVD研修)

★販売図書のご案内 (会員価格有り)

「小規模建築物向け設計・監理等業務委託契約書式」 (平成26年5月制定)

「四会連合協定建築設計・監理等業務委託契約書類」 (平成25年2月1日版)

「民間 (旧四会) 連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」 (平成23年5月改正)

★レクリエーション企画を募集しています。

9月6日 (土) に湧蓋山 (1,500m) の登山レクリエーションが実施されました。

企画は会員及びその知人相互の親睦を深めるために、会員自ら企画立案し、運営は参加者の自己負担 (参加費等) によるものです。周知広報等は事務局がお手伝いします。各支部から自由な発想で楽しい企画を募集します!



晴れの天気予報に裏切られ頂上はガスで写真も霞んでいます。帰りはぬかるんだ道に苦闘の第1回登山レクでした。次回こそは・・・

**平成28年度（2016年度）の第59回建築士会全国大会を別府市で行います。**  
**☆日時は平成28年10月22日（土）～23日（日）**  
**☆会場は別府市ビーコンプラザです。**

昭和38年（1963年）の第8回建築士会全国大会「大分（別府）大会」から51年後、約半世紀ぶりの開催です。いま、委員会で準備をしていますが式典企画やエクスクーショの企画、ポスター企画などはこれからです。会員皆さんからも積極的なアイデアをお寄せ下さい。



ちなみに建築士会の全国大会は、建築士の連帯と意識の高揚を図るために、毎年1回、全国47都道府県の建築士会会員が一堂に会し、「式典」（①功労者・伝統的技能者・連合会賞の各表彰、②会務報告、③大会アピール等）、「交流セッション、地域からの情報発信セッション、展示ブース企画」等の諸行事を行い、その中で、建築士が担っている社会的役割と責任に対する意識の高揚を図り、建築文化の進展に寄与することを誓うと共に、広く一般参加を募り、建築士に対する認識を深めて頂くと同時に、建築士会会員相互の連帯を一層深めることを目的としています。

**大分ヘリテージマネージャーネットワーク（OHMN）が発足しました。**

さる、8月21日に大分ヘリテージマネージャーネットワークが発足しました。平成22年度から25年度に文化庁の補助事業で実施した「地域文化財建造物専門家育成研修」修了者を核に、①歴史的建造物の発掘、保全、活用、管理、運営等により地域のまちづくりに活かす活動 ②地震災害等により被災した歴史的建造物の早期復旧のための調査・応急措置支援活動 ③ヘリテージマネージャー（歴史的建築物の保全・活用に係る専門家）の継続的な人材育成と技術力の向上を図る活動 ④公益社団法人大分県建築士会、文化財行政等との協力・連携活動 ⑤相互の情報の共有と発信、その他会の目的を達成するために必要な活動を行います。研修未修了者でも趣旨に賛同する方ならどなたでも加入できますので、是非研修会等の機会には参加してみてください。なお、代表世話人に芳山憲祐顧問、副代表世話人に鈴木義弘調査研究委員長と養父信義副委員長が選任されました。



#### 広報委員

担当常務理事 〈大分〉 宮 崎 隆 博  
委員 長 〈大分〉 後 藤 悟  
委 員 〈大分〉 常 廣 竜 也  
員 〈津久見〉 濱 野 一 明  
〈日田〉 佐 藤 敏 孝  
〈中津〉 佐 藤 博 昭

#### 編集委員

担当常務理事 〈大分〉 亀 谷 芳 久  
委員 長 〈高田〉 後 藤 憲 二  
委 員 〈大分〉 足 立 忠 明  
員 〈大分〉 岐 部 和 久  
〈大分〉 日 高 雄 介  
〈大分〉 都 瑠 淳 一  
〈別府〉 小 山 秀 輝  
〈国東〉 野 田 忠 博  
〈臼杵〉 佐 藤 暢 彦  
〈津久見〉 山 本 忠 昭  
〈佐伯〉 長 田 孝 治  
〈佐伯〉 疋 田 寛 子  
〈佐賀関〉 井 上 雅 順  
〈豊後大野〉 佐 藤 勤 也  
〈竹田〉 玉 田 智 憲  
〈玖珠〉 白 地 泰 照  
〈日田〉 伊 藤 幸 昭  
〈中津〉 佐 藤 博 賢  
〈宇佐〉 渡 邊 賢 一

建築士大分 2014.10 No. 113

(非売品)

平成 26 年 10 月 27 日 印刷

平成 26 年 10 月 27 日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大 分 県 建 築 士 会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

# 建築士

# おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0907	別府市幸町 8-32 (株)ユウキ内	0977-22-1921
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4	097-575-1120
臼杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下 1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2436	津久見市上宮本町 6-22	0972-82-8806
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-23-6099
豊後大野	879-7131	豊後大野市三重町大字市場 2 区	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0025	日田市田島 1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	<a href="http://www.oita-shikai.or.jp/">http://www.oita-shikai.or.jp/</a>		
高田支部	<a href="http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/">http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/</a>		
国東支部	<a href="http://www.beppu-onsen.jp/">http://www.beppu-onsen.jp/</a>		
別府支部	<a href="http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/">http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/</a>		
大分支部	<a href="http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/index.html">http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/index.html</a>		
佐賀関支部	<a href="http://www.bungo.or.jp/t-shikai/">http://www.bungo.or.jp/t-shikai/</a>		
臼杵支部	<a href="http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/">http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/</a>		
津久見支部	<a href="http://www61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm">http://www61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm</a>		
佐伯支部	<a href="http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/">http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/</a>		
豊後大野支部	<a href="http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm">http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm</a>		
竹田支部	<a href="http://kentikusi-nakatu.net/">http://kentikusi-nakatu.net/</a>		
玖珠支部			
日田支部			
中津支部			
宇佐支部			

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～  
目標 3,000 人突破



公益社団法人 大分県建築士会